

脱炭素社会の実現に向けたGX推進事業

～ 経済・社会・環境の三側面の好循環を創出し、2050年カーボンニュートラルを目指します！～

寄附目標額
10,000千円

関連するSDGsのゴール



1. 事業概要について

地球温暖化の影響が深刻化しつつある中、本市は2030年度に温室効果ガス排出量を51%削減（2013年度比）し、2050年にカーボンニュートラルを実現するという目標を掲げています。その達成に向けては、環境だけでなく経済や社会にも着目した地方創生の取組としてのGX施策を推進しています。

2. セールスポイントと独自性

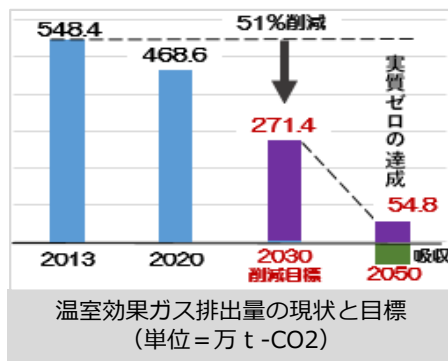
本市は、国が公募した「脱炭素先行地域（エリア内の電力消費に伴うCO2の排出を実質ゼロにする等）」の第1弾（全国で26地域）として**県内で唯一**選定され、地域脱炭素の先導モデルの構築を進めています。また、本市は山間部・港湾部・都市部を有しており、各エリアの特性に応じた、**先進的かつ水平展開可能**な取組を進めています。

企業の皆様のお力添えにより、本市の先進的モデル事業をさらに加速・発展させることで、**日本ひいては世界の脱炭素に貢献**することを目指していきます。

3. 現状と課題

【現状】

脱炭素先行地域の整備やPPAによる太陽光発電設備の導入促進、脱炭素に資する新技術開発への補助や水素の利活用拡大に向けた支援などを行っており、**20202021年度**の温室効果ガス削減量は約**149%**（2013年度比）となっています。



【課題】

2050年のカーボンニュートラルに向け、2030年度までに2013年度比51%削減の目標を掲げているものの、実現するためには高いハードルを越えなくてはなりません。その達成に向けては、既存の取組の延長にとどめるのではなく、**社会システムやライフスタイルの革新**に向けた脱炭素に資する**技術革新**や新商品・サービスが必要です。



水素ステーションで水素充填中の燃料電池自動車

4. ベネフィット

10万円以上

- ・感謝状の贈呈
- ・市HPへ企業名、企業ロゴ、寄附金額、企業概要等の掲載

メッセージ

GXを推進していくことが世界の潮流にある中、地球温暖化対策に率先して取り組むことは、温室効果ガス排出量が多い指定都市の責務です。本市は、**トップランナーとして全国のモデルになり、地球温暖化を防ぐだけでなく地域の経済・社会の発展に貢献**します。

将来にわたり安全・安心に暮らせるまちの実現に向け、是非、ご支援とご協力をお願いします。



脱炭素先行地域として整備中の恩田原・片山エリア

【担当： 環境局 **GX推進課** Tel.054-221-1611】

好循環の目指す姿

